

♡ ことばの力 ♡ からだの力 ♡ こころの力

# 園長室だより

城南学園幼稚園 園長 太田友子 平成29年5月1日

「小学校につながる確かな学びの基礎を培う」幼稚園



風薫る5月 一人ひとりが輝いて！



満開のつつじに囲まれてまるで花園のような園庭、そんな中、子どもたちは存分に遊んでいます。砂遊び、スケーター、ままごとなどなど。年少児たちは、興味津々にそんな年中・長児の遊びを見つめています。



この時期の子どもたちの成長のキーワードとなるのが、「見通し」です。

ようやく園生活に見通しをもてるようになり、登園時に泣く姿から降園時に「帰りたくない」と泣く姿へと変化が見られるようになりました。

午前保育から通常保育へと、保育時間が延び、給食も始まり、新入園児にとっては体力的にも緊張の連続で大変だったことでしょう。自分の教室が分かり、トイレの場所も分かり、「おしっこ、行ってきます！」と自分から進んでいく姿も見られるようになりました。

この時期、トイレに行く活動はとても重要で、時間を決めて全員を促して連れていきます。その後、手を洗う、服(スモック)を着替える、たたむ、ローカーに水筒やバックを置くなど、先生のお話を聞いて、友だちを真似て、自分でチャレンジしています。



このように、子どもたちには、「言葉」をよりどころに、思考を働かせながら行動する力を育てています。「ことば」の発達には思考を促すからです。「見通し」と同様、「ことば」を介して理解する力を育てようとしています。

働かせながら行動する力を育てています。「ことば」の発達には思考を促すからです。「見通し」と同様、「ことば」を介して理解する力を育てようとしています。

見通しをもつために

～ 黒板は「スケジュール帳」～



皆さんは、どのようにスケジュールを把握されますか。本園では、子どもたちが「見通し」をもって主体的に幼稚園生活を過ごすために、黒板に一日の流れをイラストを使って示しています。

上記の黒板は、年長組4月段階のものです。子どもの成長段階に応じて変化させていきます。今、年少組の黒板には、トイレのイラストが使われています。トイレに行く時期を子ども自身が見通しをもって把握し、自ずとコントロールするように導いていきます。



左の写真は、年中組の朝の会の様子です。一年間幼稚園生活を過ごした経験により、子どもたちは見通しをもつてのびのびと幼稚園生活を過ごせるようになってきています。

転入生のお友だちを中心にすえて、新しいクラスづくりに励んでいるところです。

そして、右の写真は、年長組の子どもたち。全体集会でも素敵なモデルとなってリードしてくれています。からだの力とことばの力の成長が著しく、集中力が一段と伸び、制作活動に没頭しています。お家に持ち帰った「鯉のぼり」制作を鑑賞し、「どこが一番がんばったところ？」とたずねてあげてくださいね。

